

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2002-142967  
(P2002-142967A)

(43)公開日 平成14年5月21日(2002.5.21)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
A 4 7 H 23/08

識別記号

F I  
A 4 7 H 23/08

テーマコード\*(参考)  
2 E 1 8 2

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-342145(P2000-342145)

(22)出願日 平成12年11月9日(2000.11.9)

(71)出願人 500054628

▲梁▼ 東明

愛知県尾張旭市旭台3-2-11

(72)発明者 ▲梁▼ 東明

愛知県尾張旭市旭台3-2-11

(74)代理人 100083068

弁理士 竹中 一宣

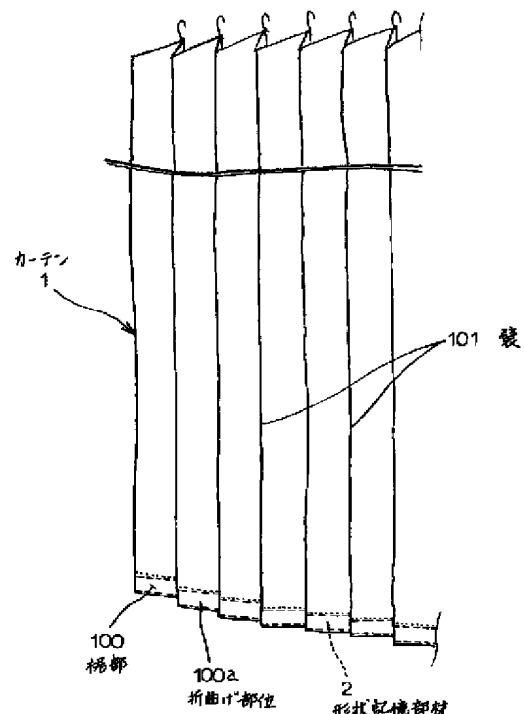
Fターム(参考) 2E182 AA01 AB01 AB03 AC01 BB05  
BB14 CC00 CC09

(54)【発明の名称】 カーテン

(57)【要約】

【課題】 従来、カーテンの裾部の形状確保、風等による捲れ(乱れ)防止として、主に薄物のカーテンに使用されている可撓性の重り紐がある。この構成は、可撓性の重り紐であることから、特定の襷と略相似形の裾部の確保、又は薄物のカーテンの裾部の形状確保等には、有効と思われる。しかし、襷の形状、大きさ、数等において限定されている。例えば、形状では、山形、波形等では対応できないこと、また襷の大きさ、数では、比較的ゆとりのある形状、形態等に限定されること、等の問題がある。

【構成】本発明は、多数の襷101を備えたカーテン1であって、カーテンの裾部100に、襷と略相似形の形状記憶部材2を設ける構成としたカーテンである。従って、カーテンの裾部の形状を、当該カーテンの襷と略相似形として、このカーテンの美観の向上が図れる。カーテンを折畳み収容する際、裾部の折畳が確実に行える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 多数の襷を備えたカーテンであって、当該カーテンの裾部に、前記襷と略相似形の形状記憶部材を設ける構成としたカーテン。

【請求項2】 多数の襷を備えたカーテンであって、当該カーテンの裾部に、前記襷と略相似形の形状記憶部材を設け、また前記裾部の下方に鎖を吊下する構成としたカーテン。

【請求項3】 上記の形状記憶部材が、帯状の芯材であって、当該芯材を、襷と略相似形の折曲、曲面、波状等とする構成の請求項1、又は請求項2に記載のカーテン。

【請求項4】 上記の芯材の襷と略相似形の形状を、縫製、樹脂膜、熱圧着構成、又は金具等の形状手段で確保する構成とした請求項1、又は請求項2に記載のカーテン。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カーテンに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、カーテンの裾部に関する構成としては、裾部の形状確保、風等による捲れ（乱れ）防止、又は形状の多様化等が挙げられる。

【0003】この形状確保として、主に薄物のカーテンに使用されている可撓性の重り紐があり、例えば、特開昭59-108508号のカーテン及びカーテン上端縁取芯材の文献(1)に開示されている。この文献(1)は、可撓性の重り紐であることから、特定の襷と略相似形の裾部の確保、又は薄物のカーテンの裾部の形状確保等には、有効と思われる。しかし、襷の形状、大きさ、数等において限定されている。例えば、形状では、山形、波形等では対応できないこと、また襷の大きさ、数では、比較的ゆとりのある形状、形態等に限定されること、等の問題がある。

【0004】また風等による捲れ防止としては、前記の文献(1)の他に、例えば、特開平7-269248号のブラインドカーテンの文献(2)に開示されている。この文献(2)は、アルミ製のブラインドであるので、単に、裾部を直線状に確保することにある。従って、襷の形状、大きさ等に対応できず、前記目的の範囲に限定される。

【0005】さらに襷の形状の多様化としては、裾部を変化させるものとして、例えば、特開平11-169282号の畳み上げ型装飾カーテンの文献(3)と、特開平11-169285号の畳み上げ式装飾カーテンの文献(4)とに開示されている。この文献(3)、(4)は、カーテンの裾部を、カーテンに吊下した昇降コードを利用して昇降させることで、この裾部に変化を持たせる構成である。従って、裾部の形状確保、風等による捲れ（乱れ）防止には十分とは云えない処である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】前記文献(1)～(4)の発明等は、それぞれの構成の特徴と、効果とを有する。しかし、裾部の形状確保、風等による捲れ（乱れ）防止又は多くの襷の形状に対応した略相似形の裾部を確保する

には、今だ改良の余地が考えられる。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、カーテンの裾部の形状を、当該カーテンの襷と略相似形として、このカーテンの美観の向上を図ること、また当該カーテンを折畳み収容する際、当該裾部の折畳が確実にできる構成とすること、等を目的とする。

【0008】請求項1は、多数の襷を備えたカーテンであって、当該カーテンの裾部に、前記襷と略相似形の形状記憶部材を設ける構成としたカーテンである。

【0009】請求項2の発明は、請求項1の目的の他に、カーテンの裾部の捲れ防止を図ることを目的とする。

【0010】請求項2は、多数の襷を備えたカーテンであって、当該カーテンの裾部に、前記襷と略相似形の形状記憶部材を設け、また前記裾部の下方に鎖（チェーン、ワイヤー等を含む）を吊下する構成としたカーテンである。

【0011】請求項3の発明は、カーテンの裾部の形状を確保するに最適な形状記憶部材の素材を提案する。

【0012】請求項3は、形状記憶部材が、帯状の芯材であって、当該芯材を、襷と略相似形の折曲、曲面、波状等とする構成の請求項1、又は請求項2に記載のカーテンである。

【0013】請求項4の発明は、カーテンの裾部の形状を確保するに最適な形状記憶部材の形態を提案する。

【0014】請求項4は、芯材の襷と略相似形の形状を、縫製、樹脂膜、熱圧着構成、又は金具等の形状手段で確保する構成とした請求項1、又は請求項2に記載のカーテンである。

【0015】

【発明の実施の形態】本発明は、カーテンの裾部に、帯状の芯材（形状記憶部材）が設けられているので、当該カーテンを閉めた際、当該帯状の芯材が、カーテンの裾部の形状を確保するのに役立ち、かつ襷と略相似形の裾部が形成される。従って、体裁がよく、当該カーテンの美観及び室（部屋）の美観の向上、落ち着いた雰囲気の生成等に役立つ効果がある。またカーテンの折畳み収容の際も、カーテンの裾部は襷と略相似形となっており、このカーテンの上から下まで略同じ形状で折畳まれるので収容の容易化、美観の向上、又は室の美観の向上等に役立つ特徴がある。

【0016】尚、カーテンの裾部に鎖を布設する構成では、当該裾部に重量が付加されるので、風等による衝撃があっても妄りに揺れたり、又は捲れ上がったることがなく、体裁がよいこと、埃が発生しないこと、またカーテンが他の物品とは接触しないので、安全であり、また安心して開閉できること、又は当該カーテンが汚れないこと、損傷しないこと等の実益がある。この例でも収容等は前述の例と同様である。

【0017】

【実施例】以下、本発明の一例を説明する。

【0018】1はカーテンであり、このカーテン1の裾部100に

は、カーテン1の襷101と略相似形の形状記憶部材2を設ける。例えば、裾部100を折曲げ形成し、この折曲げ部位100aに、襷101と略相似形の折曲、曲面、波状等とした芯材3を設ける構成とする。この芯材3の形状記憶の手段としては、例えば、襷101と略相似形の形状を、縫製、樹脂膜、熱圧着構成、又は金具等の形状手段200で確保する。そして、この形状手段200は、芯材3の重なり部300には設けず、折曲げ端、山部、折曲げ片等の折曲げ301とする。この重なり部300に設けない構成を採用することで、例えば、カーテン1の折曲げ収容時における襷101の収容を美麗、かつコンパクトにする。

【0019】4はカーテン1の裾部100に適宜間隔を持って設けた鎖で、この鎖4により裾部100に重量が付加される。従って、裾部100は、風等による衝撃があっても妄りに揺れたり、又は捲れ上がったりとすることがなく、体裁がよいこと、等の特徴がある。

【0020】尚、形状記憶部材2を、鎖4で代替する構成も可能であり、この構成では、前記襷101の形状確保と、重量付加による特徴とが併用できる。さらに形状記憶部材2と鎖4を併用する構成も可能であり、この構成では、コストの低廉化、作業の簡略化等が図れる。

#### 【0021】

【発明の効果】請求項1の発明は、多数の襷を備えたカーテンであって、カーテンの裾部に、前記襷と略相似形の形状記憶部材を設ける構成としたカーテンである。従って、カーテンの裾部の形状を、当該カーテンの襷と略相似形として、このカーテンの美観の向上が図れること、またカーテンを折畳み収容する際、裾部の折畳が確実にできること等の特徴がある。

【0022】請求項2の発明は、多数の襷を備えたカーテンであって、カーテンの裾部に、襷と略相似形の形状記憶部材を設け、また裾部の下方に鎖（チェーン、ワイヤ等を含む）を吊下する構成としたカーテンである。従って、請求項1の目的の他に、カーテンの裾部の捲れ防止が図れること等の特徴がある。

【0023】請求項3の発明は、形状記憶部材が、帯状の芯材であって、芯材を、襷と略相似形の折曲、曲面、波状等とする構成のカーテンである。従って、カーテンの裾部の形状を確保するに最適な形状記憶部材の素材を提案できる。

【0024】請求項4の発明は、芯材の襷と略相似形の形状を、縫製、樹脂膜、熱圧着構成、又は金具等の形状手段で確保する構成のカーテンである。従って、カーテンの裾部の形状を確保するに最適な形状記憶部材の形態を提案できる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】カーテンの全体を示した一部欠截の斜視図である。

【図2】カーテンの裾部の拡大斜視図である。

【図3】カーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図4】他のカーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図5】さらに他のカーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図6】芯材の要部を示した拡大平面図である。

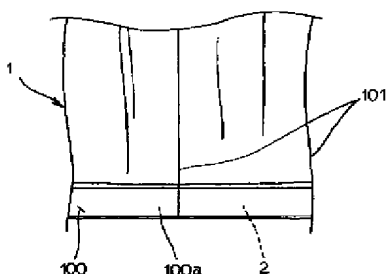
【図7】他の芯材の要部を示した拡大平面図である。

【図8】他のカーテンの全体を示した一部欠截の斜視図である。

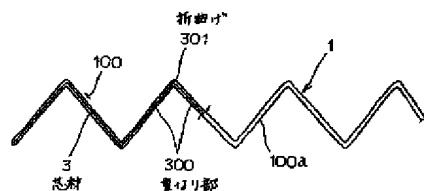
#### 【符号の説明】

|      |        |
|------|--------|
| 1    | カーテン   |
| 100  | 裾部     |
| 100a | 折曲げ部位  |
| 101  | 襷      |
| 2    | 形状記憶部材 |
| 200  | 形状手段   |
| 3    | 芯材     |
| 300  | 重なり部   |
| 301  | 折曲げ    |
| 4    | 鎖      |

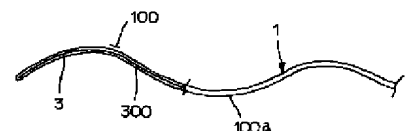
【図2】



【図3】



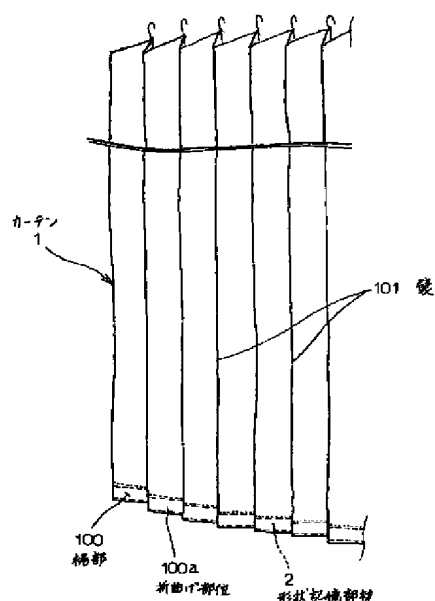
【図4】



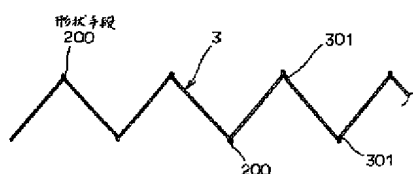
【図5】



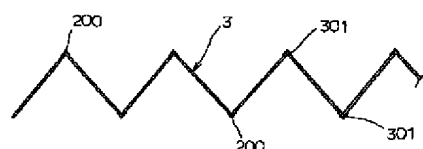
【図1】



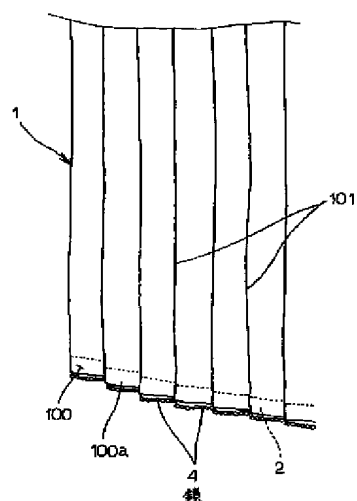
【図6】



【図7】



【図8】



## 【手続補正書】

【提出日】平成12年11月10日(2000.11.10)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】カーテンの全体を示した一部欠截の斜視図である。

【図2】カーテンの裾部の拡大斜視図である。

【図3】カーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図4】他のカーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図5】さらに他のカーテンの裾部の一部を欠截した拡大平面図である。

【図6】芯材の要部を示した拡大平面図である。

【図7】他の芯材の要部を示した拡大平面図である。

【図8】他のカーテン（鎖使用）の全体を示した要部の斜視図である。

【図9】他のカーテン（パイプ使用）の全体を示した要部の斜視図である。

【手続補正2】

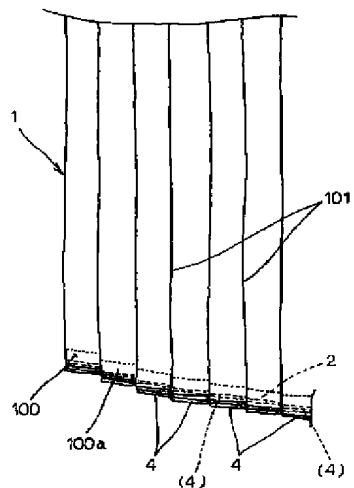
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】追加

【補正内容】

【図9】



**DERWENT-ACC-NO:** 2002-532350

**DERWENT-WEEK:** 200257

*COPYRIGHT 2008 DERWENT INFORMATION LTD*

**TITLE:** Curtain, has shape memory member  
provided at the skirt portion

**INVENTOR:** YANA T

**PATENT-ASSIGNEE:** LIANG D M[LIANI]

**PRIORITY-DATA:** 2000JP-342145 (November 9, 2000)

**PATENT-FAMILY:**

| <b>PUB-NO</b>   | <b>PUB-DATE</b> | <b>LANGUAGE</b> |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| JP 2002142967 A | May 21, 2002    | JA              |

**APPLICATION-DATA:**

| <b>PUB-NO</b> | <b>APPL-<br/>DESCRIPTOR</b> | <b>APPL-NO</b>    | <b>APPL-DATE</b>    |
|---------------|-----------------------------|-------------------|---------------------|
| JP2002142967A | N/A                         | 2000JP-<br>342145 | November<br>9, 2000 |

**INT-CL-CURRENT:**

| <b>TYPE</b> | <b>IPC DATE</b>    |
|-------------|--------------------|
| CIPP        | A47H23/08 20060101 |

**ABSTRACTED-PUB-NO:** JP 2002142967 A

**BASIC-ABSTRACT:**

NOVELTY - The curtain (1) consists of a series of folds (101), with a shape memory member (2) provided at the skirt portion (100).

USE - Curtain.

ADVANTAGE - Ensures that the skirt portion of the curtain can be easily folded when necessary. Provision of the shape memory member at the skirt portion allows in the suspension of a chain or a wire underneath the skirt portion.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective diagram of the curtain. (Drawing includes non-English language text)

Curtain (1)

Shape memory member (2)

Skirt portion (100)

Folds (101)

**CHOSEN-DRAWING:** Dwg.1/8

**TITLE-TERMS:** CURTAIN SHAPE MEMORY MEMBER SKIRT  
PORTION

**DERWENT-CLASS:** P27

**SECONDARY-ACC-NO:**

**Non-CPI Secondary Accession Numbers:** 2002-421589